

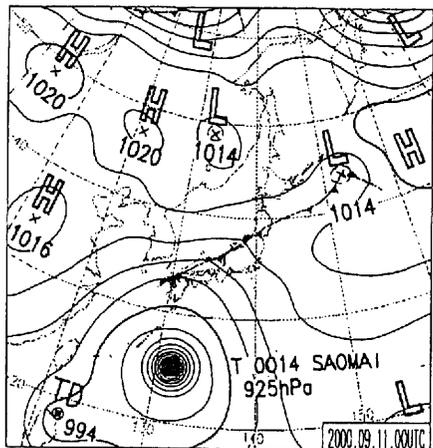
(質問)

台風が山梨県にどのくらい近づけば影響が出るのですか。

(回答)

台風では主に大雨と強風の影響を受けますが、それぞれの台風によって大きさや強さが違いますので、どのくらい近づけば影響を受けるかは一概には言えません。

一般的に台風は強雨域と暴風域や強風域を伴っていますので、台風が山



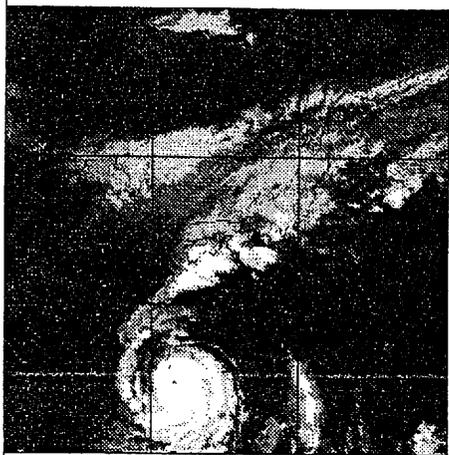
平成12年9月11日9時の天気図

梨県の真上を通る、あるいはより接近して通るほど影響を強く受けます。台風が本州から遠く離れている時でも、台風からの湿った空気が流れ込んで、長い時間雨を降らせて大雨になることもあります。

さらに2000年(平成12年)9月の東海豪雨(図)のように、台風がはるか南海上にあっても、本州付近に前線が停滞していると、前線活動が活発となって大雨となることが多くなります。

山梨県が暴風域や強風域に入ると風も強くなりますが、台風が遠ざかっても吹き返しによる強い風が吹くことがあります。

台風は中心に向かって反時計回りに風が吹き込んでいますので、台風が自分の住んでいる所の左側を通過すると風向は時計回りに変化し、右側を通過すると反時計回りに変化します。左側を通過すると、台風の進行方向と風向が一致しますので、右側を通過する時よりも風が強くなりますが、発達した台風では中心がどちら側を通過しても強い風が吹くと考えた方がよいで



平成12年9月11日9時の衛星から見た雲の様子 しょう。

(問い合わせ先)

連絡先 甲府地方気象台
担当 防災業務課
電話 055(222)9101